

2023 年度（令和5年度）学校評価自己評価表

校番 1	福山市立鞆の浦学園
最終更新日	2024年（令和6年）2月16日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の理念のもと、各中学校区・学校は「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心に評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 自校

前年度学校運営協議会の主な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が進めている取組内容については、概ね肯定的評価をいただいた。</li> <li>開校5年目も、児童生徒の成長のため義務教育学校ならではの取組を積極的に進めていくことを期待される。</li> </ul>

ミッション
義務教育9年間の一貫した教育を推進し、将来の日本やふるさと福山を支え貢献する人材を育成する。

学校教育目標
郷土福山を愛し、心身ともにたくましく意欲を持って主体的に学ぶ子どもの育成～ふるさととの自然、人、歴史、伝統、文化に触れながら、学びをつなぎ深める～

現 状
<p>&lt;児童生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふるさとが好きである」児童生徒の割合 92.4%</li> <li>「自分の考えは認められている」91.9%</li> <li>次の4つの「育成する力」が身に付いている、深まっていると回答した割合 「課題発見・解決能力」90.4% 「情報活用能力」92.0% 「コミュニケーション能力」92.5% 「郷土愛」92.4%</li> <li>福山ブランド「鞆学」を中心に、子ども達は意欲的に学びながら自分達のやっていることを積極的に発信する姿が多く見られた。</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学級は安心して学べる場である」91.0%</li> <li>「学校での学びはよく分かる」91.9% 「考えることは面白い」86.9%</li> <li>「意欲を持って学んでいる」88.4% 「探究することが大好き」85.4%</li> <li>前期課程の全学年で一部教科担任制を取り入れており、学習意欲の高まりが見られた。プロボノメンバーをはじめ、多くの外部人材の協力をいただき、子ども達が将来の夢や志を見付け育む教育内容と教育体制を更に進める。</li> </ul>

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	① 課題発見・解決能力 ② 情報活用能力 ③ コミュニケーション能力 ④ 郷土愛	
めざす 子ども像	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を多面的に見たり、これまでの経験や知識を活用したりする中で、新たな課題を発見することができる。</li> <li>多様な他者と協働したり、よりよい解決方法を選択したりすることで目的に応じた納得解を導き出したり実行したりすることができる。</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切かつ効果的な情報を収集できる。</li> <li>収集した情報を分類・整理・比較・関連付けて、目的や意図に応じて適切かつ効果的にまとめることができる。</li> <li>多様な他者を相手とし、情報と関連付けてより効果的な方法で発信できる。</li> </ul>
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者と互いに考えを認め合いながら、協働することができる。</li> <li>多様な他者と協働することで新たな考えを創造し、適切かつ効果的な解を導き出すことができる。</li> </ul>
	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>鞆のよさや課題を理解した上で、解決策を考えることができる。</li> <li>世界的な視野で、鞆のよりよい町づくりに貢献できる。</li> </ul>

研究	<p>主題内容等</p> <p>「教科・学年の枠を超えた9年間の一体的な教育内容と教育体制の確立」</p> <p>～「探究」の世界にどっぷりつかるとつなげる！ひろがる！～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「認知のしくみ」から個人テーマを設定し、さらなる学びの質と実を追求する</li> <li>カリキュラムマップを活用した単元構想力と授業実践力を追求</li> </ul> <p style="text-align: center;">学びの土台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と家庭の学習・生活を繋ぎ、全ての活動に根付く主体性と責任感</li> <li>学園会作成の「幸せの道」を踏まえ、安心して学べる共感・支持的文化</li> </ul>
めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なぜ？」「わからん、教えて！」「やった、わかった、できた！」「もっとやりたい！」などの声がする授業</li> <li>自ら目標をもち、みんなとともに考え、話し合い、学び合い、自信を育てる授業</li> </ul>

Ⅲ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鞆の浦学園

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
							□指標に係る取組状況	70%以上評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上評価	達成評価	総合評価	改善方策
2	夢と志を育み、可能性に挑戦するための意欲と学び続ける力を付ける。	★	継続	児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、一人一人が自らの伸びや成長を実感できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部人材を積極的に活用しながら、学力向上取組シート、体力向上計画の取組内容を定期的に検証・発信する。</li> <li>「幸せの道」の取組内容をさらに深めるため学級、学園全体で絶えず議論・交流・発信を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの伸びや成長の具体物を学校内外に積極的に発信する。児童生徒アンケート「発信している」の肯定的評価85%以上</li> <li>児童生徒アンケート「学級は安心だ」「自分の考えは認められている」の肯定的評価85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□全学年、学期に1回以上、外部人材を活用できた。</li> <li>アンケート追加「自分の作品を発信できた」肯定的評価77.6%</li> <li>□学園会の呼びかけを中心に各学級で「幸せの道」を見直したり、考えたりする時間を設けた。「学級は安心」92.2% 「考えは認められている」86.0%</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究の取組発表の場に、積極的に学校運営協議会委員や外部人材をゲストに招く。そこで得た評価を探究サイクルに還元していく。</li> <li>スマイルラジオ（学園会の校内放送）を通して、学年や委員会が自分達の取組を発信し、学年を超えて互いに認め合える環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□鞆学や職場体験の取組発表には外部人材を招き地域にも学びを広げることができた。「自分の作品を発信できた」肯定的評価82%</li> <li>□学年や委員会が自分達の取組を発信し、学園全体で取り組んだ。取組後、異学年での振り返りを交流した。「学級は安心」93.0% 「考えは認められている」88.0%</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの伸びや成長を実感できるように、研修で深めた意見や外部人材から得られた意見を基に教育課程を見直し、学力・体力向上につなげる。</li> <li>児童生徒が主体的に学園生活の良さや課題を見つけ、改善に向けた議論を通して、お互いを認め合えるような交流・取組をする。</li> </ul>

2	「ふるさと鞆・福山」への愛着と誇りを育み、より良い町づくりに貢献できる。	★	継続	より良い町づくりを、SDGsとキャリア教育を関連付け考えて、活動を選び行動できる。(自己選択・決定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとをテーマに課題発見・解決学習を進め、取組や学びを積極的に発信する。</li> <li>・一人学びと協働学びをバランスよく効果的に設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒アンケート「ふるさと大好き」SDGs達成に貢献している」の肯定的評価 85%以上</li> <li>・児童生徒アンケート「探究大好き」の肯定的評価 85%以上</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 「鞆学」を中心に様々な活動を行っており積極的に発信できている。「ふるさと大好き」97% 「貢献している」89.2%	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達に自己決定の場で適切な手立てがとれるように鞆学相談会を実施して教員が学びに見通しをもつ。</li> <li>・校外学習を計画的に実施し、ネットの情報に頼らず自ら手に入れた情報をもとに探究を深める。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 「鞆学」を通して「地域」「人」とつながりを深めることができた。「ふるさと大好き」95.3% 「SDGs貢献」92.0%	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともに課題発見・解決、SDGsに関連付けた取組など、学んだことを積極的に発信・共有していく。</li> <li>・探究意欲を高める課題設定の工夫をし、地域や社会に還元できるように鞆学の現状を整理し、教育課程を見直す。</li> </ul>
2	「学校における働き方改革取組方針」を踏まえ、子ども達と共に自ら挑戦し続ける。	★	継続	個人テーマを設定して自らの強みを活かし、年間を計画的に業務遂行する力を付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びが面白い」の深化をめざし、取組の質を高める具体策を実践交流・発信する。</li> <li>・定時退校日の推進と業務内容の改善を進め、見通しが持てる業務管理を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人一人がやりがい感を持ち自らの成長記録を手に入れている。</li> <li>・全職員が、時間外勤務1ヶ月45時間以内、年間360時間以内</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 研修を通して個々の実践を交流し、2学期の方向性をまとめた。100NEN7カット「仕事にやりがい」100%	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外の研修に積極的に参加し、教育の質を高める具体策を考え、実践する。</li> <li>・次年度の教育活動を精選し、教材研究と、子どもと向き合う時間を最大限確保する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 個々の実践を交流することで、それぞれが自分の実践に活かした。100NEN7アット「仕事にやりがい」100%	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだことを全職員に還元できるように校内研修や共有できる情報発信のシステムを整える。</li> <li>・教育内容や行事を精選し、異学年とつながりが生かせる仕組みづくりを行う。</li> </ul>

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。